

## OVATION 親Cueの途中スタート

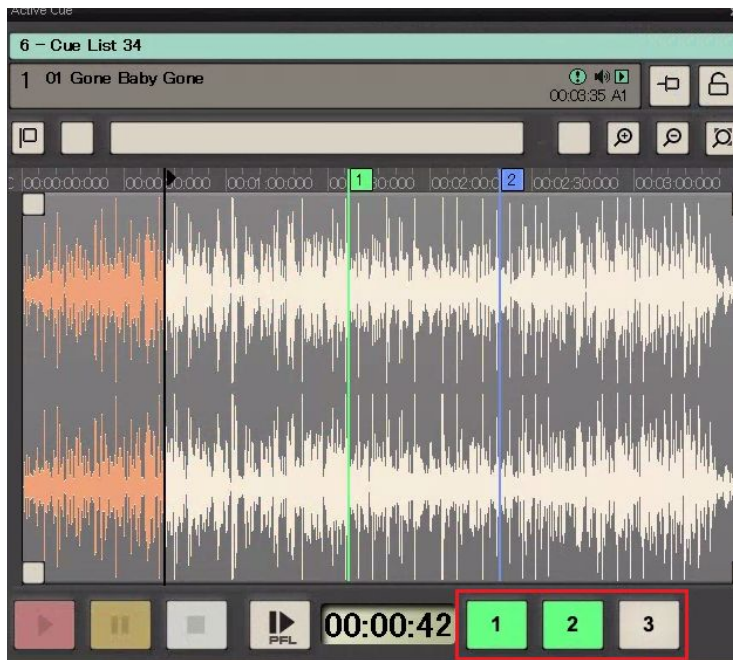
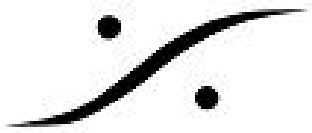
NESTを使用して親Cueをスタートさせたと同時に子Cueをスタートさせることができます。

その場合に、親Cueを途中からスタートさせる方法について解説します。この時、子Cueは親Cueと同じサンプル数の位置から再生されます。

1. 親Cueと子CueをCue Listに置きます。
2. Cue List PropertiesでDefault Interaction Rulesの右枠をクリックし、Fire | All Child Cues | When | Starting に設定し、Add Rules>>をクリックして設定します。
3. View > View Active Cue Window を開きます。
4. 親Cueを選択すると、親Cueの波形がウインドウ内に表示されます。
5. Active Cue Window の時間軸（下図赤枠内）をクリックすると、カーソルを移動できます。途中スタートしたい場所にロケートしてください。



6. ロケートしたら、**Shiftキーを押しながら**、Active Cue Window右下にある[1],[2],[3]のいずれかのボタンをクリックします。これでロケートポイントを作成できました。ロケートポイントは、同時に3つまで設定することができます。また設定したときと同様の手順で再設定が可能です。また、ロケートポイントにマウスカーソルを近づけて上矢印（↑）にカーソルが変化すると、ロケートポイントをドラッグして動かすことができます。



7. Showをスタートさせます。
8. 設定したロケートポイントをクリックしてCueをスタートさせると、子Cueも親Cueのスタートから同時刻の位置から再生を開始します。

